
令和5年度

地域活性化事業交付金

活動事例集



相模原市 南区

目 次

地域活性化事業交付金とは	1
・ 麻溝の地域遺産普及啓発事業	2
・ おもしろ防災まつり ～ドキドキわくわく楽しみながら防災を知ろう～	3
・ 秋の防災フェス ～つなげよう子ども達へ、広げよう地域の輪～	4
・ ミシマサイコを活用した相武台地域の景観美化・イメージアップ事業	5
・ 相模台てくてくおさんぽラリー事業	6

地域活性化事業交付金とは

□地域活性化事業交付金とは、より多くの市民の参加と協働による地域の活性化を目指し、本市のまちづくりを進めてきた22の地区で展開される市民による自主的な事業に対して交付される交付金です。

□対象事業

- ・地域の防災・防犯に関する事業
- ・地域の保健・健康づくりの増進に関する事業
- ・地域福祉の増進に関する事業
- ・産業や観光の振興に関する事業
- ・環境の保護・保全に関する事業
- ・青少年の健全育成に関する事業
- ・地域の文化・伝統の振興に関する事業
- ・生涯学習に関する事業
- ・地域及び地域活動の情報発信及び広報に関する事業
- ・区が推進する重点事業
- ・その他地域のコミュニティづくりを目的とし、区長が特に認める事業

□優先的な交付対象事業

- ・自治会への加入促進
- ・地域における公共的な活動の担い手育成
- ・公共的な活動への参加者増加
- ・地域の公共的な活動団体間の連携強化
- ・まちづくり会議が提示した地域課題の解決

□交付対象とならない事業

- ・政治活動、宗教活動又は営利活動を目的とする事業
- ・交付申請を行う年度において、相模原市が実施する他の補助制度等の対象となる事業
- ・政策提案又は講座等の開催を主たる目的とする事業
- ・調査、研究を主たる目的とする事業。ただし、地域の活性化に資する事業に繋がる計画があるものを除く。
- ・第三者への事業促進を求める事業
- ・前各号に掲げるもののほか、区長が適当でないと認める事業

□交付金の申請者は、原則として交付金の趣旨に合致する事業を行う5人以上の構成員で組織される団体とします。申請にあたっては、事業を実施する地区のまちづくりセンターへご相談ください。

□当該年度の事業実施期間は、4月1日から翌年3月末とします。また、同一の事業に継続して交付する場合については、3年を限度とします。

□交付金は、次の経費を交付対象とし、その交付率は10分の10以内とします。

- ・事業に要する消耗品費、郵便代等の通信費、印刷製本費等
- ・事業を行う上で必要な食糧費（交付対象者の構成員に対するものを除く。）、備品購入費、施設使用料、備品借上料等
- ・事業を行う上で必要な施設等の光熱水費等
- ・事業を行う上で必要な委託費等
- ・イベント等の開催時に掛ける保険料、警備費等
- ・講演会等の講師に対する報償費
- ・研修会の旅費等、研修に要する経費（交付対象者の構成員個人の資質向上に対するものを除く。）
- ・その他事業遂行に必要な経費であって区長が必要と認めるもの

※備品（物品等で1件1万円以上の財産）にかかる経費の交付率は、対象経費の3分の2以内となります。

麻溝の地域遺産を未来につなぐ会

1 背景と目的

麻溝地区の人たちが大切にしてきた貴重な地域遺産（麻溝地区の歴史・文化遺産、自然、景観など）を適切に保存していくとともに、地域住民をはじめ多くの人にその魅力を知ってもらうことが、地域に対する愛着につながり、もって地域の振興やコミュニティの維持・発展に資することを目的とするもの。

2 事業内容と実績

- 十二天神社境内に設置されている「関東大震災崖崩れ復興記念碑」（国土地理院の自然災害伝承碑）及び山の神神社境内に設置されている「雹塚」（雹除け祈願の六角柱の地神塔）の案内看板を設置した。
- 地域探訪ハイキング「当麻山の門前町下当麻を訪ねて」を麻溝観光協会等と共催で開催し、28名の参加を得て、大変好評であった。また、令和5年度から当該ハイキングを麻溝公民館の企画持込事業とし、これまで以上に他団体との連携が図られる体制を整えたことにより、更なる地域遺産の魅力発信につなげることができた。
- 麻溝公民館文化展での展示発表、損耗が懸念される古い石碑の記録を拓本として後世に残すことや、これまで調査してきた地域遺産の記録をまとめた資料を一般の閲覧に供する取組なども進めた。



3 成果と今後の展望

地域の貴重な遺産である復興記念碑や雹塚を多くの人に知ってもらう環境が整備された意義は大きく、今後は積極的な活用が求められる。時を超えて今の私たちにつながる偉大な足跡を、多くの人に体感してほしい。

今後も活動を継続・発展させていくため、麻溝地区の埋もれた地域遺産の発掘・整備・普及啓発、公民館や学校・地域と連携したイベントの開催、会員の増加や協賛団体の募集等による安定した活動の確保などを引き続き検討し、実施していく。

おもしろ防災まつり ～ドキドキわくわく

麻溝地区

楽しみながら防災を知ろう～

麻溝防災まつり実行委員会

1 背景と目的

地域コミュニティの希薄化が加速する中、地域ぐるみで防災に取り組む風土をどのように作っていくかが課題であったため、課題解決に向けて実行委員会を組織した。

自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高め、参加者に向けて防災知識や備蓄など「自助」の取り組みの実施につながる体験等を提供するとともに地域防災活動の担い手育成を推進することを目的とした。



2 事業内容と実績

【日時】令和6年2月4日（日）
10時30～14時30分

【会場】麻溝公民館

【参加者】約1,000人

【内容】スタンプラリー企画における防災体験（起震車、電気自動車の活用、マイタイムライン作成、防災アプリ、段ボールベッド展示、防災講演会、防災用品展示、災害救助犬デモンストレーション、避難所運営VR体験、119番通報ゲーム、AED講習）、炊き出し食の体験（防災カレー、豚汁うどん、焼き芋）、段ボールこたつ体験（段ボールこたつカフェ：珈琲、クレープ）、こども企画（水消火器で射的、ミニ消防服で記念撮影、麻溝ジュニアリーダーズクラブによるこども遊び、SC相模原によるサッカーゴルフ）、アンケートコーナー（麻溝地区自治会連合会による自治会加入促進）

3 成果と今後の展望

自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高めてもらうことができた。また、企画段階から運営スタッフを公募したことにより、地域防災活動の担い手として期待できる人材も発掘することができた。

当該交付金が活用できなくなる4年目以降も継続して実施できるよう、次年度以降も協力団体及び協賛団体の確保に努め、本事業が地域に定着した頃合いを見て「炊き出し食の体験」や「こども企画」の有料化も検討していく。

秋の防災フェス ～つなげよう子ども達へ、 広げよう地域の輪～

麻溝地区

地域防災力向上・自治会員増員実行委員会

1 背景と目的

コロナ禍以前は自治会による運動会が実施され、地域交流を図っていたが、子ども会が解散し、子育て世代の参加が減少傾向にあったところ、コロナ禍において地域交流活動は完全に停止してしまった。

地域防災を切り口に地域住民の交流の場を創出し、地域ぐるみで防災意識を高めることを目的とするが、事業内容が防災関連のみでは子ども達（子育て世代）の来場はあまり期待できないため、会場に足を運びたいくなるような催物を組み込むことにより、まずは来場してもらい、併せて防災意識を高めてもらうよう企画したもの。

2 事業内容と実績

【日 時】令和5年10月8日（日）
10時30～12時30分

【会 場】下原こども広場

【参加者】約180人

【内 容】新磯消防署による AED 使用方法の講習、消防団による初期消火の実演、炊き出し訓練、射的、スーパーボールすくい、輪投げ等



3 成果と今後の展望

防災フェスでは、訓練以外に防災ガイドブックやハザードマップ等を配布し、地区防災情報の周知を図るなど、地域ぐるみで防災に取り組む風土を醸成することができた。

今後は麻溝地区自治会連合会及び民生委員、PTA、SC相模原など様々な団体から実行委員会を組織できるよう努め、他団体への波及効果も狙っていく。また、キッチンカーなど集客が見込めるものを取り入れ、多くの方に参加してもらえるよう改善を図っていく。

1 背景と目的

平成 29 年度より地区内の高齢者福祉事業所等の余剰スペースを地域に開放いただき地域住民が誰でも集える憩いの場として「ふらっと相模台」を開設することとなった。

ふらっと相模台を開催している中で、「身近に集える場が無くて行くところがない」「身近に相談できる場所がない」「どこに相談したら良いか困っている」「きっかけがないと外出しない」等の話があり、また、地域の方より「自治会の加入率が下がってきている」「高齢になり役が担えず退会していく人が多い」「新しく引っ越してきた人は自治会に入らない」という声が多いことから、相模台地区をより知っていただくことや、事業に多く参加いただき繋がりを作ることで、自治会加入の促進や加入継続に繋げることを目的とする。

2 事業内容と実績

【事業内容】

- ・相模台地区内を歩きながら、協力店舗等に掲示しているキーワードを集める。※キーワードの他「すもー」の QR コードを掲載しており、「すもー」のラリー機能で参加可能
- ・達成状況を確認した後、アンケートを記入してもらい参加賞を渡す。

【実績】

- ・91ヶ所の事業所や店舗、自治会館へキーワード掲示の協力をもらい、昨年未開発地であった地区でも協力が得られたことで地区全体の方に参加してもらうことができた。
- ・まちのコイン「すもー」ともコラボし、「すもー」での参加者は228名であった。全体のゴール者は176名、参加者は約1,600名で、ゴール者は昨年を上回った。



3 成果と今後の展望

開催前より事業を楽しみにする声や、実施後のアンケートで事業継続を望む声があった。また、協賛や協力店舗が昨年より増え、事業が地域定着をしてきている。「すもー」とコラボしたことで、幅広い世代に参加してもらうことができ、多世代交流のきっかけにもなった。次年度以降も事業継続に向け、地域の協力を募りたい。

**令和5年度
南区 地域活性化事業交付金活動事例集**

編集

相模原市 南区役所

問い合わせ先

相模原市 南区役所地域振興課

相模原市南区相模大野5丁目31番1号

電 話 042-749-2135

F A X 042-749-2116